



なぜ、貯蓄だけではダメなの？

1 なぜ「貯蓄から投資へ」なのか？

総務省の消費者物価指数によると、令和5年1月の物価は、前年同月比で2.7%上昇しています。これは、仮に同じペースで物価が20年上がり続けたとして、**現在毎月20万円の生活をしている人が、10年後に同じものを買って同じ生活をしたくても26万円必要になっている**ということです。一方、銀行に10年預けていても20万40円にしかなりません。銀行に預けずに今使えば20万円は20万円分のモノやサービスと交換できるのに、銀行に預けていた20万円は20万40円にしかなっておらず、買えなくなっているという状態です。**物価の上昇に金利が追い付いていないので、同じお金を使っても買えるものが少なくなっています**。つまり、何もせず普通預金に預けていても、お金の価値が減っているとも言えるでしょう。

急激に「貯蓄から投資へ」というキャッチフレーズと共に、資産運用の必要性が言われ始めてきました。

2 インフレとデフレについて

物価上昇は我々の生活にどのような影響があるのでしょう。ここでは、インフレとデフレという言葉の意味を解説します。**インフレとは・・・**一般的には、景気が良い時に物価は上がります。景気が良い時はみんな沢山買い物をすると、人気のある商品の値段は上がり、その商品を作っている会社の売上や従業員の給料が上がります。またその従業員が消費者となり、買い物をして、再びモノの値段が上がるということを繰り返していく。これをインフレと言います。

デフレとは・・・景気が悪い時はモノが売れないで値段が下がります。スーパーのお総菜コーナーの余り物に、シールが貼られて値段が下がる状態です。供給に比べ需要が不足しているため、物が売れないから値段を下げ、売上が落ちるから価格や従業員の給料も下がり、従業員は使えるお金が減るため、必要最低限の物しか買わなくなります。これにより、再び商品は売れなくなり、値段が下がる状態を繰り返す。これをデフレと言います。

- ・投資に関する相談
- ・相続に関する相談
- ・保険の見直し
- ・住宅ローンの借換
- ・結婚、出産等による環境変化の相談
- etc.

お金に関するご相談何でも承ります。
大切なご家族様、ご友人様をご紹介ください。

3 日本の物価上昇は良いこと？悪いこと？

では今の日本はどうでしょうか。今の日本の物価は上がっています。ただ景気が良いから上がっているのではなく、少子高齢化による人材不足が背景にあります。異常気象や原油価格高騰などの影響も受け、商品を生産する原価が上がっています。その結果、モノやサービスそのものの値段に転嫁され、物価が上がり続けているのです。不景気の影響を受け給料は上がっていないのに、モノやサービスの値段は上がっているという状態です。このように、不景気なのに物価が上がる昨今の状態を「**スタグフレーション**」と呼びます。さらに、今の日本で起きている物価上昇の原因の多くは、石油などの輸入品で、外国に所得が流れています。例えばガソリン価格が上がると、可処分所得が減って他のものが買えなくなるので貧しくなります。しかし、その**価格上昇によって儲かっている企業は、日本にはあまりない**という状態です。



解決策は1つ

さらに追い打ちをかけるように低金利です。このように不景気な時代では、人びとはお金を貯めて使わなくなります。世代によっては、大学費用や老後資金準備など、将来の自分への仕送りが必須となる方もあります。しかし、**そのように貯蓄しているお金は、低金利と物価上昇を考えたら価値が小さくなっている**のです。このような背景があり「貯蓄から投資へ」と言われるようになりました。iDeCoやNISAなどさまざまな税制優遇制度も整備されています。資産運用はもはや我々にとって、切っても切り離せない存在となりつつあります。

まとめ

何もしないことがリスクな現代において、何か行動することが求められます。まずは、しっかりと「知る」ことから始め、目標をしっかりと設定し無理のない範囲でなるべく時間を使った資産運用をおすすめします。最後までお読み頂きありがとうございます。

著者／中澤 賢一
保有資格／投資診断士 相続診断士
ファイナンシャルプランナー
MAIL／fp.nakazawa.kenichi@gmail.com
TEL／080-7359-4129